

「会務報告」

平成 25 年度熊本地学会総会及び講演会

平成 25 年 11 月 30 日（土）に熊本大学教育学部 2-B 講義室にて開催されました。参加者は 47 名で、盛会でした。

【総会】

○会員数は次のとおりです。

146 名（平成 25 年 11 月 30 日現在）

○新役員には次の方が選出されました。

会長 田中 均

副会長：鶴田孝三

幹事：村上浩二，湊 啓輔，田口清行，西岡智洋，宮縁育夫，村本雄一郎，池上直樹，藤澤聖史，坂本大輔

会計監査：河上 強

○平成 25 年度の会計は次のとおりです。

収入の部

会費：	270,000 円
内訳：平成 25 年度分	228,000 円
その他年度分	42,000 円
利息：	47 円
繰越金（平成 24 年度）：	407,494 円
合計：	677,541 円

支出の部

会誌印刷代	157,500 円
内訳：162 号	44,625 円
163 号	63,000 円
164 号	49,875 円
送料	103,745 円
講演・巡検案内謝金	35,000 円
合計：	296,245 円

次年度繰り越し： 381,296 円

【講演会】

講演会では、6 件の一般講演と 1 件の特別講演

がありました。

1) 八代山地下部白亜系の "Neithea" について

村上浩二

2) 大野川層群犬飼層から産出した異常巻きアンモナイトについて

佐藤裕一郎・野田雅之

3) 熊本地下水の硝酸性窒素対策は効果的に行われているか

田村 実・森下吉郎

4) 阿蘇火山中岳北麓におけるテフラ層序（予報）

東條一紀・宮縁育夫

5) 熊本水遺産と地下水水理構造そして混乱する継承

福田光治

6) 五木村の火砕流台地における地下水開発

田北 廣

7) 特別講演「熊本県立教育センターに勤務して」

村本雄一郎

幹事会

平成 25 年度の幹事会は平成 26 年 3 月 1 日（土）に熊本大学地学教室で開かれました。幹事会で議論した結果、平成 26 年度の行事等が次のように計画されました（括弧内は担当役員）。

○会誌の発行

165 号（4 月）

166 号（7 月）

167 号（11 月）

企画・編集（池上・湊・西岡・宮縁）

会誌 162 号に掲載の投稿規定に定められているとおり、「研究」、「解説」、「実践報告」、「速報」、「行事報告」などの原稿を募集しています。なお、165 号から必要に応じてカラー印刷を行うことになりました。

○巡検会

平成 26 年度の巡検会は次のとおりです。

春の巡検会：

平成 26 年 4 月 27 日（日）

宮崎県高千穂町（尾上・田中・村本）

夏の巡検会：

26年8月30日～31日

御所浦（広瀬・鶴田・村本）

秋の巡検会：

平成26年9月27日（土）

阿蘇周辺（新村・宮縁）

会場：熊本大学くすの木会館

総会担当幹事：田口・宮縁

○その他

その他の会務の担当役員は次のとおりです。

会 計：宮縁

事務局：宮縁

○総会及び講演会

平成26年11月22日（土）